

2024年11月20日
 報道関係者各位

～11月20日は世界こどもの日～ こども食堂に余剰作物を寄付し、地域のこどもに 笑顔の輪を広げる「かけはしくらぶ」の活動をレポート

L Pガスを中核に保安最優先でエネルギー事業を展開する株式会社ガスパル（本社：東京都品川区、代表取締役社長：橋本俊昭）は、各地のこども食堂等に余剰作物を寄付する「かけはしくらぶ」の活動を2022年より行っています。世界の子どもたちの相互理解と福祉の向上を目的とした国際デーである「世界こどもの日」に合わせ、当社の取組みをご紹介します。

■「かけはしくらぶ」とは

当社がL Pガス供給を行う建物のオーナー様にご協力いただき、オーナー様からお譲りいただいた余剰作物などを社員が運搬し、地域のこども食堂へ寄付する活動です。設立20周年を迎えた2022年に周年事業の一環として始めました。

その土地を大切にされているオーナー様と、その地域で暮らす子ども、その未来を当社がかけはしとなってつなげたいという意をこめて「かけはしくらぶ」と名付けました。

L Pガス事業でいただいたご縁をもとに、オーナー様と一緒に地域貢献できる取組みとして尽力しています。



関連記事：【かけはしくらぶ始動】<https://www.gas-pal.com/news/20221028/987/>

【全国で活動開始】<https://www.gas-pal.com/news/20230922/1947/>

■「かけはしくらぶ」今期活動状況について

7月の活動開始以降、オーナー様からたくさんの農作物等をご提供いただき、11月19日までに全国11拠点でこども食堂へ寄付することができました。今年度の活動は2025年1月まで継続予定です。



各地の活動の様子

■ 「かけはしくらぶ」がつなぐ笑顔の輪

かけはしくらぶに関わる皆さまより温かい声をいただいています。

余剰作物を寄付いただいたオーナー様

「今まで無駄になっていた野菜の引き取り手ができて、
うちの野菜が子供たちのためになっていたら嬉しい」
「畑で取れた野菜でおいしい食事をたっぷり食べて大きくなしてほしい」



オーナー様からいただいた
お野菜とメッセージカード

子ども食堂ご参加者様（メッセージカードより）

「おいしかったよ、ありがとう」
「おいしいおやさいつくってくれてありがとう」



子ども食堂参加者から
オーナー様へのメッセージカード

社員

「オーナー様と子ども食堂のかけはしになれることを誇りに
思います」
「オーナー様、寄付先の両方に笑顔で喜んでいただけて
自分も嬉しくなりました」

「かけはしくらぶ」の活動を通じて、たくさんの笑顔が生まれ、
関わってくださる皆さんの生きる活力につながっています。

当社では「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業として、今後もステークホルダーの皆さまとともに、子どもの健やかな成長を応援してまいります。